

地域貢献実績及び計画書

平成20年5月23日

千葉県知事 堂本 暁子 様

商店街名 稲毛商店街振興組合

「商業者の地域貢献に関するガイドライン」により、次のとおり提出します。
記

1 商店街の概要

(1) 所在地 千葉市稲毛区稲毛 3-6-2

(2) 商店街の概要 会員数：33名

会員以外を含む商店数：50店舗

京成稲毛駅を中心に JR 稲毛駅方面から国道 357 号線に続く縦長の商店街

商店街HPはこちら→<http://yotoboshi.tu.chiba-u.ac.jp>(夜とぼし)

http://www.hanae.ne.jp/i_ippin/(いなげ逸品)

2 地域貢献活動の概要 (別紙のとおり)

担当窓口	担当部署 又は担当者	広報担当 海宝
	電話番号	043-243-9218
	電子メール	inageen@yahoo.co.jp

(別紙) 地域貢献活動の概要

1 商店街の地域貢献に関する基本的な考え方

商店街は、地域の大きなコミュニティーであり、地域の防災や安心安全な街づくり、少子高齢化などの諸問題に地域とともに取り組む姿勢が大切。稲毛地区は高齢者世帯が多く、道路も未整備の箇所もあり、災害に弱い街といわれている。これら諸問題を地域と商店街がともに考えともに取り組むしくみ作りが出来れば、商店街の顧客たる地域住民が安心して暮らせる街に出来るのではないかと考え、各種の取り組みを実行している。

2 具体的な地域貢献活動の取組

実 績

- ・稲毛地区商店街連協とともに「らっしやい稲毛」を開催し、独自開催として「秋の大収穫祭」を毎年開催。
- ・商学連携事業として千葉大生の町おこしグループ稲毛 Drops を招致し、稲毛の町おこし活動が続いている。
- ・稲毛 Drops・千葉商工会議所とともに地域のお年寄りなどから稲毛の歴史を取材し稲毛レトロマップを作成。
- ・稲毛あかり祭夜灯を「千葉県みんなでつくる商店街モデル事業」の補助を受け2年継続して開催。

第2回稲毛あかり祭夜灯(平成19年11月23日 前夜祭・24日 本祭開催)

昨年実施した内容に加え、下記のニイナメの要素を加えた催しを実施した。

1. キャンドルの灯りと地域の3校の小学校・育成委員会体験教室・社会福祉協議会地域高齢者のみなさんが作成してくれたかざぐるままでで昔存在した富士五湖を再現。
2. 地域の書道教室のみなさんをお願いし、池の埋め立ての折、現れた白蛇の伝説をモチーフに池から二本松弁才天までを、文人墨客が集った旅館海気館にちなみ、浅間神社内に歌碑のある平山独木氏の和歌100撰の文字灯籠のプロムナードで彩った。通りのコーディネイトは稲毛3丁目自治会が担当した。
3. 23日を前夜祭ニイナメ祭とし、24日午前中育成委員会のメンバーを中心としてウォークラリー大会・地元ボランティア団体による餅つき大会を開催。
4. 地域ボランティアによる、あさりを使った稲毛の伝統食「ふうかし汁」を販売。
5. 浅間神社神楽連による、五穀豊穡の舞、十二座神楽を奉納するなど、地元出演者によるイベントを開催。
6. 地元の小中学生・幼稚園児や社協による高齢者ワークショップを開催し、約3000の手作り灯籠と約1000の手作ricかざぐるまを作成してもらい、灯籠は公民館・あかり広場・浅間通りなどに配置し点灯し稲毛公園内広場にかざぐるまを配置し稲毛の浜風を表現した。尚、稲毛公民館はガールスカウト千葉県第8団・稲毛公園は稲毛東5丁目自治会・遊具公園は稲毛台自治会がそれぞれ自主性をもってコーディネートしてくれた。
7. 地元住民や京葉工業高校の生徒さんによるワークショップを開催し、約1800の竹灯籠を作成。浅間神社境内に配置点灯し、浅間神社本宮前にて2基の大たいまつを点灯した。
8. ゆかりの家稲毛の夜間開館を実施した。
9. 地元人形作家の人形展を公民館にて開催。

これから取組もうとしている計画

・稲毛東5丁目自治会と稲毛3丁目自治会・消防団との連携により地域の防災や少子高齢化などの諸問題を考え、活動の中心となる建物の建設を推進。現在継続中。

合同会館建設により、実施予定の諸活動。

1. 可動用ポンプ・チェーンソー等の使い方教室や救命救急・避難誘導・消火活動等の講習会を実施。。
2. 心肺蘇生装置を設置、講習会を開催する。
3. 災害時に活動できる地域リーダーを養成する。
4. 災害時の緊急避難場所として、活用する。
5. 年1回地元住民の防災意識を喚起するために各種活動の報告や講習会・炊出し等を行う防災フェアを開催する。
6. 独居老人や高齢者世帯の被災時における救助活動のための地域マップ等を作成し、地区ごとの救助連携を構築する。
7. 地域の高齢者ボランティア団体と連携し、会館を高歳者福祉の場として活用する。
8. 高齢者の居場所として活用し、安心して暮らせる町づくりを目指す。